

【令和4年度第15回（前回）の指摘事項及び回答】

No.	発言者	指摘	当日の回答	改善策
1	辻委員	紹介率について、80%を目指すために、何か方法はあるのか。	紹介率は上げていきたいが、医師を確保できても外来の診療スペースに限りがある。また、コロナ患者も含め紹介状がない患者を断ることもできない。紹介患者のみ診察するなど大胆なことをしなければ紹介率80%は難しい。	地域医療支援病院制度認定においては、紹介患者中心の医療を提供していること。具体的には、次のいずれかの場合に該当すること。 ア) 紹介率が80%以上であること イ) 紹介率が65%以上であり、かつ、逆紹介率が40%以上であること ウ) 紹介率が50%以上であり、かつ、逆紹介率が70%以上であること の条件であるが、当センターでは令和4年度紹介率72.9%、逆紹介率91.7%となっており条件を満たしている状況。また、医療機関との連携を図るため令和4年4月から令和5年3月にかけて、コロナ禍ではあったが、106件の医療機関に訪問した。他の病院の紹介率分析まではできていないが情報は得ている。 公立病院として、紹介状なしの初診患者受診拒否（専門科を除く）は出来ないものと考えている。
2	吉岡 木村 委員	他の病院別の紹介率の資料を提示できないか。	次回の評価委員会で資料を提示できればと考えている。	地域医療支援病院の紹介率 (参考資料8)
3	露口 委員	医師・患者数も増えており、また、診察スペースがない中で、診療科を増やして大丈夫なのか。	現在の診療スペースの中で工夫をしながら対応する予定である。	診察室、待合等の課題に対し令和7年度増築棟開院に向け進めている。 (参考資料9)
4	吉岡 委員	災害時医療訓練の参加人数が少ないように思う。今後、いつおこりうるかわからない災害に添えて、日頃から十分に訓練をしておくべき。	新型コロナウイルス感染症の流行していたこともあり、訓練参加者を少なくした。今後は、感染状況をみながら参加人数を増やして行っていく。	昨年度に引き続き、令和5年11月に災害時医療訓練を実施する予定である。また、今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入等もあり、大々的に訓練はできないが、来年度、関係機関（和泉市消防本部や和泉保健所等）と連携を図り、訓練を行えるよう調整する。
5	高杉 委員長	評価シートについて、目標値等がないため、評価しにくい部分もある。次回改訂の経営強化プランの内容も踏まえ、評価シートを見直ししてはどうか。	検討します。	今年度中に改訂の経営強化プランの内容も含め、評価シートを見直しを行う。